

# 魚臭を短時間 に無臭化

## カルファケミカルが新物質

科学技術

### トリメチルアミン 主成分をアミノ酸に

### 金属イオン配合がミツ

カルファケミカル(横浜市鶴見区鶴見中央一ノ九ノ六、社長小池恵治氏、☎〇四五(〇〇)二二〇)は、魚臭を分解処理する新しい消臭物質を開発した。新物質は「V-L-O-O-S」と呼ぶ化合物で、鉄、カルシウム、ナトリウム、カリウムなどを組み合わせて合成した。消臭のメカニズムは新物質の金属イオンが魚臭の主成分であるトリメチルアミンと結合、アミノ酸に分解する仕組みだ。実験によると、トリメチルアミンの溶液を一千分の一程度の濃度で二十秒間という短時間で分解、消臭したという。また鮮度保持についても有効なデータが出ており、同社は水産加工用の消臭剤として最適とみている。

### 鮮度の保持にも効果

腐敗臭にはアンモニア、トリメチルアミン、メチルメルカプタン、硫化水素などがある。これらトリメチルアミン臭を消すのは、活性炭などによる物理的吸着、芳香性において、どこに鼻を刺激する。これまでトリメチルアミン臭を消すのは、活性炭などによる

物理的吸着、芳香性において、よりメスキングなどの方法が考えられていたが、完全に消臭効果は上がっていない。カルファV-L-O-O-Sは淡黄色の透明液体で、液体中に金属イオンが浮遊した状態となっている。消臭効果を発揮するのは、ミセリイオンの中での

した実験では、二十秒ほどで腐敗臭はなくなったという。水産加工工場は魚のにおいが強い。そのため、作業員不足が目立っている。同社はV-L-O-O-Sで加工前に処理すれば悩みを解消でき、また魚の内部まで金属イオンが作用し腐敗自体も防止できると期待している。今後、新物質の用途開発を進める考え。